

大阪府市場だより

第261号

(平成25年11月26日)

発行

大阪府中央卸売市場協会

茨木市宮島 1-1-1

TEL (072) 636-3698

FAX (072) 636-3699

暦絵歳時記

スワイガニとタラバガニ

旬が同じであるスワイガニとタラバガニは、見た目や身の味はもちろん、美味しい部位や適した調理法も異なる。スワイガニは、冬の味覚の王様といわれるほど人気が高い。北近畿・北陸・山陰にはスワイガニ需要によって発展した温泉地も多い。味は繊細で甘みが強く、カニ味噌は濃厚で美味しい。塩茹でや蒸しガニ、カニ鍋のほか、新鮮なものは刺身で。特に、上品で甘みがある肉とこってりした味の中腸腺（カニミソ）、メスの卵巣（内子）も美味である。

タラバガニは、体全体が大きく、足がとても太いのが特徴。身が引き締まっているので、プリプリとした食感で食べごたえがある。主に脚の部分だけを食べて、カニミソはほとんどないので食べることはない。味はやや淡泊なので茹でて食べるよりカニ鍋にして食べる方が良さそう。

寒くなるこの季節、家族揃って旬のカニ鍋を楽しむ最高の時期の到来である。大いに美味を楽しみましょう。



絵：「カニ&氷上の仲間達」 山口 瞳（大庄水産）

市場まつりの開催結果等を報告

定例常駐代表者会議

府市場の定例常駐代表者会議が11月21日午前10時から管理棟会議室で開催された。山口秀雄議長（府水産物卸協同組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。

まず、11月10日に開催された「開場35周年記念市場まつり」について、榎本昭弘・同実行委員会委員長が挨拶し、各社・各団体の皆さんのご支援により盛大に開催できたことの礼を述べ、小雨の降る天候にもかかわらず、4万5千人の方にご来場いただくとともに、楽しんでいただき、無事盛会に終えることができたことを報告した。

事務局から、①主な来賓、②広報の概要、③無料バスの輸送人員数、④市場まつりの来場者アンケート集計結果として、628人の回答があり、602人（96%）が「また来たい」と回答していること、⑤掲載業界紙の紹介、⑥予算の執行状況などについて報告があり、了承された。

次に、管理センターの宮前統括から、活性化対策事業、修繕事業の概要等について報告された。（6ページ参照）

東野・青果卸売協同組合理事長からウォシュレットに除菌できるものをつけて欲しいとの要望があり、管理センターで検討されることとなった。

異・北部冷蔵サービスセンター社長から、製氷棟の定期的な点検を行い、突発的な故障被害などが起こらないようにして欲しいとの要望があった。

議題3として、前川市場長から大阪府の冬の節電対策が紹介され、12月2日から3月31日までの平日、9時から21時まで、暖房の適温（暖房19度）設定などが説明された。

次に、事務局から年賀交歓会について、1月5日の9時から9時30分まで管理棟7階大会議室での開催案が示され、了承された。

木田・食品衛生検査所長から、11月28日の食品衛生指導員研修会への参加依頼があった。

矢野・食品流通センター社長から、12月22日に開催する加工食品卸売場の感謝セールでの駐車場確保の協力要請があった。

事務局から、市場だより11月号及び12月号は、26日付の発行になるとの説明があった。



旭日双光章を受章

山口秀雄氏

(全国水産物卸組合連合会副会長
大阪府水産物卸協同組合理事長)

山口秀雄氏が今年秋の叙勲で旭日双光章受章の栄誉に輝かれた。山口氏は、95年から大阪府水産物卸協同組合の理事長を務め、近畿地区水産物卸組合連合会副会長、全国水産物卸組合連合会副会長など数々の要職を歴任。99年には黄綬褒章を受章されている。

また、全国の中央卸売市場で初めて指定管理者制度が府市場に導入されたが、山口氏はいち早く指定管理者に名乗りを上げ、平成24年4月から大阪府中央卸売市場管理センター(株)の社長として市場運営にあたり、活性化に大きく貢献されている。

山口氏は、大阪市中央卸売市場「本場」において、家業である

水産物仲卸業を営んでいたが、昭和52年11月、大阪府の入場業者募集に際し、意欲的に入場を希望し、指定を受けてマダロを専門的に扱う水産仲卸商として府中央卸売市場開場当初に入場。

保のため、組合を核とした場内

〈大阪府水産物卸協同組合〉

山口氏は、昭和53年の設立当

初から組合事業に積極的に関与。

発足当時は、市場内の秩序やル

ールが確立していないことや運

営上の種々の問題を抱えていた

が、市場全体の長期的な発展確

保のため、組合を核とした場内



みなと新聞：提供

業者の資質向上、融和と意思統一を図るべく、各種親睦会や座談会を開催する等、組合員間の融和と資質向上に尽力された。

また、時代の要請に見合った効率的・機能的な組織とするため、消費者向けの「1日お魚料理教室」、量販店との懇談会等、拡販対策事業に取り組みための組織を新設する等、他市場に先駆けた取り組みは市場関係者から高い評価を得るとともに、今日に至るまで事業が継続されている。

このように組合設立から運営に至るまで、常に責任感をもって豊富な経験と識見を生かし、組織のあるべき方向を見極め、事に当たっては果敢な実行力を持って対処し、組合運営の基礎を確立された。

ごあいさつ

旭日双光章受賞の栄に浴し一言お礼申し上げます。

水産組合理事として33年、理事長として18年、指定管理会社社長も引き受け多少なりとも府市場のために頑張ってきた結果、ご褒美をもらい心より喜んでおります。

先ずは70才という条件を満たすこと健康第一にやってこれたお陰と両親にも感謝するものです。

また、周りの人々特に組合運営では井路端事務長、管理センターにおいては設立時よ

〈全国水産物卸組合連合会〉

山口氏は、平成3年に全国の同業団体で組織する全国水産物卸組合連合会の理事に就任以来、各都市の関係業界団体との連絡調整を密にし、生鮮食料品流通業務の質的向上、改善、効率化と仲卸業界の近代化を図るべく献身的にその職責に精励し、現在では副会長を務めている。氏の全国規模の団体での長年に渡る活躍は、業界の発展に大きく寄与されている。

〈大阪府中央卸売市場の指定管理者〉

平成22年2月に大阪府中央卸売市場に全国で初めてとなる指定管理者制度を導入することが決定されたことを受け、氏は、府市場を何としても自分たちの力で発展させ、次の世代に引き

り宮前統括に非常にお世話になり、実力以上の役割を果たせました。ここに業界関係者共々心よりお礼と感謝の意を表します。

これからももう少し次代の後継者に適した市場造りのお手伝いが出来ればという思いでおります。

先ずは関係諸兄へのお礼まで
平成25年11月3日

大阪府中央卸売市場管理センター(株) 代表取締役
大阪府水産物卸協同組合

理事長

山口 秀雄

山口氏の主な要職

全国水産物卸組合連合会副会長
近畿地区水産物卸組合連合会副会長
大阪府中央卸売市場協会副理事長
大阪府中央卸売市場協会常駐代表者会議議長
大阪府水産物卸協同組合理事長
大阪府中央卸売市場管理センター(株)代表取締役
大阪府中央卸売市場運営協議会委員
大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会委員

継ぎたいという強い愛着心と信念のもと、受け皿となる新会社を立ち上げるべく奔走し、青果・水産の卸会社4社と青果・水産両仲卸組合の6者からの出資を得て、平成23年9月に氏を代表取締役とする新会社が設立された。

新会社は公募に応じ、外部有識者による選定委員会において指定管理候補者として選定され、大阪府議会の議決を経て、指定管理者に指定され、平成24年4月から管理運営を開始した。

府市場には指定管理者制度の導入後、他市場から問い合わせや視察が相次いでいることから、円滑な管理運営が行われており、今後の市場運営の先進事例、モデルとなるものである。

榎本昭弘氏
大阪府水産物卸協同組合
副理事長



榎本昭弘氏

榎本氏は、昭和56年に府水産物卸協同組合理事、平成7年常任理事、15年副理事長に就任し、32年の永きわたり、組合の要職にあり、食品衛生に関する知識を普及させ指導を行った。平成13年には、食品衛生指導員の資格を取得し、大阪食品衛生協会大阪府中央卸売市場支部食品衛

大阪府では、食品衛生の普及・向上に貢献した、食品衛生功労者と食品衛生優良施設の知事表彰を、11月6日、エルおおさか（大阪市中央区）で行った。

食品衛生功勞者知事表彰

井上幸治氏

食品衛生功労者として知事表彰を受けた井上幸治氏（55才）
 ㈱はまじま水産代表取締役は、平成13年府水産物卸協同組合理事、15年同組合業務委員長に就任し、府市場において同業者・従業員に食品衛生に関する知識



井上 幸治氏

を普及させ指導を行った。また15年には食品衛生指導員の資格も取得するなど、府市場の食品衛生の向上や後進の指導・育成に尽力された功績が認められた。

.....

食品衛生優良施設表彰を受けた施設

(敬称略)

食品衛生優良施設表彰を受けた施設
(敬称略)

◆(株)北清商店(代表取締役・坂井正善) 青果販売業

◇大晃水産(株) (代表取締役・尾

上益見) 魚介類販売業

◇(株)マルマス(代表取締役・藤

田一食品販売

.....

生指導部会員として、また、21年6月からは、同部会長に就任し、府市場の食品衛生の向上や後進の指導・育成に大いに尽力された。

また、15年から現在まで10年間、近畿地区水産物組合連合会理事、全国水産物組合連合会理事を務め、行政との連携のもと、食品衛生の向上、発展に尽力し、業界の指導育成における顕著な功績が認められた。

榎本さんのコメント「皆さんのおかげでこのような表彰をいただきました。今後とも、食品衛生の向上に精進し、業界のより一層の発展に尽力していきたい。ありがとうございました。」

日本食品衛生協会 食品衛生指導員理事長表彰 苔縄一光氏

日本食品衛生協会では、食品衛生指導員理事長表彰を10月24日、東京のヤクルトホールにおいて行った。

食品衛生指導員理事長表彰を受けた苔縄一光氏（69才）（株）丸光代表取締役会長は、昭和54年から34年間にわたり、食品衛生指導員として食品衛生の向上に貢献するとともに、府市場付設加工食品卸売場内における各施設の自主衛生管理を推進された功績が認められた。



苔 繩 一 光 氏

大阪府中央卸売市場では、市場の活性化を図るため、大学などとの事業提携を活かし、様々な事業を展開している。

□ 府市場の社員食堂へ「お魚レシピ」を提供

府市場内にある水産会社「う
おいち北部」「大 waters 支社」の
社員食堂に健康に配慮した「お
魚レシピ」を、大阪成蹊短期大
学栄養コースの学生が考案し、
提供しました。

提供レシピは、①揚げ秋刀魚のポン酢仕立て、(小鉢) えびとかぼちゃのサラダ、ほうれん草のヨーグルト和え ②焼きシヤケの味噌

ダレ、(小鉢) たこときゅうりの酢
の物、水菜とベーコンの胡麻ドレ
サラダの二つの定食。

10月26日(土) 午前10時から社員食堂で提供。レシピを作成した学生も参加し、手作りポスターの掲示や、アンケートの協力を呼び掛けた。

食事をした両卸会社の社員さん達も「おいしい」と評判で、学生のみなさんは、自分が作ったレシビが、「おいしい」と言われる度に、「うれしい」を連発していた。府市場では、今後、アンケートを活かしお魚や野菜などの生鮮食料品の消費拡大を図っていく。



「お魚の臭い」がとれる？
石鯨開発

府市場の指定管理者である府中央卸売市場管理センター(株)が魚の消費拡大を目指して、「お魚の臭い」が効果的に取れる石鹼を企画し、試作品が完成した。

家庭で「お魚」を料理する機会を増やすためには、調理する際の手についた臭いを効果的に落とすことが、ひとつの方法だと考え、沖縄県石垣市で、すべて天然素材を使用され、安全・安心で、手が荒れない「石鹸」を障がい者施設で製作されている「サンシャトウ」に協力を依頼して出来上がったもの。

梅花女子大学の食文化学部
の学生が協力し、「石けん」の消臭
効果を調理実習で検証し、また
参加した学生から、パッケージ
デザインを募集して、今回の製
品に採用した。

今後は、府市場のネットショップで販売をする予定で、有料モニターとして、府民の方、100名にサンプルを使用していただくこととし、モニターを募集している。

〈モニター募集内容〉◇人数…100
 名(先着順となります) ◇費用
 1000円◇申込先…大阪府中
 央卸売市場ネットショップ
www.osakafu-chuouichiba.com



来賓・主催者



茨木市消防音楽隊



応援ゆるキャラ



テープカット



J:comの中継



市場のゆるキャラ セりちゃん



開場35周年記念市場まつり盛大に開催 4万5千人が来場



山口秀雄・開場35周年記念事業実行委員長



中村誠仁・大阪府環境農林水産部長



杉本武・大阪府議会副議長



木本保平・茨木市長



榎本昭弘・市場まつり実行委員長

大阪府中央卸売市場の開場35周年を記念する市場まつりが11月10日(日)に、4万5千人の来場者を迎えて開催された。場内の青果・水産などの組合をはじめ、全国の主な20産地、水産5メーカーなどが出店し、これに加えて徳島県のイベント車「新鮮なっ!とくしま」号と総勢40人の阿波踊りの一行が花を添え、事業連携の3大学のイベントなど大々的な開催となった。

当日は、朝から雨模様で来場者の減少が心配されたが、開場前から多数の来場者があふれ、熱気に満ちていた。

開会前に、茨木市消防音楽隊が迫力ある演奏を行った後、8時45分にオープニングセレモニーが開催された。

主催者を代表して、山口秀雄・開場35周年記念事業実行委員長(府水産物卸協同組合理事長)が、「日楽しく過ごしてください」と挨拶し、その後、松井一郎・大阪府知事(中村誠仁・環境農林水産部長が代読)が「市場関係者が一体となって、川上、川下と連携し、安全・安心な生鮮食料品を安定して供給し、食への信頼性の向上に一層努力したい」と挨拶。来賓からは、杉本武府議会副議長、木本保平茨木市長が祝辞を述べた。

次に、市場のマスコット「セりちゃん」と応援の8ゆるキャラの紹介と写真撮影があった。

9時には、茨木市消防音楽隊のファンファーレが高らかに演奏され、テープカットが行われた。

9時には、榎本昭弘・市場まつり実行委員会委員長(府水産物卸協同組合副理事長)が開会を宣言し、まつりがスタート、13時の終了まで大いに盛り上がり続けた。



阿波踊り



来場者



市場のゆるキャラ
せりちゃん



スピードくじ



青果コーナー



水産コーナー



サッカーシュート



消防啓発コーナー



マグロの解体・即売



産地コーナー



鮭のチャンチャン焼き



マグロの解体・即売



食品衛生検査所による
手洗い指導



巨大魚コーナー



「新鮮なっ！とくしま」号



追手門学院大学生による食育



梅花女子大学生
による司会



大阪成蹊短期大学生による模擬店

衛 検
だより

冬は特に注意！ノロウイルス

食品衛生検査所

毎年、冬になるとノロウイルスなどによるウイルス性の胃腸炎が流行します。正確な数は不明ですが、我が国ではおよそ100万人程度が毎年感染していると推察されています。感染しますと下痢、嘔吐等の症状を呈し、ウイルスが同定される以前は「お腹にくるカゼ」などと呼ばれていました。現在では総称して「感染性胃腸炎」と呼ばれています。

われ、営業者が行政処分の対象となる場合があります。食品を取扱う業務に携わる関係者は十分な注意が必要です。

ノロウイルス食中毒事故を防ぐポイントを再確認します。

① 手洗いの徹底（トイレのあと、作業前、盛り付け前など）

② 食品取扱いは、清潔な専用の服装で、マスク、キャップ、手袋等を着用。

③ 調理器具や設備等の殺菌消毒（ノロウイルスには、汚れを落とした後、次亜塩素酸Na溶液（200ppm）が有効、加熱消毒も有効）

④ 調理者の健康管理（普段から

感染しないよう食べ物や家族の健康状態に注意する。下痢や嘔吐などの症状があるときは、責任者に報告し、また食品を直接取り扱う作業をしない。症状がなくなってもしばらくは油断できない。必要に応じ検便実施）

⑤ 加熱調理加工をする商品はしっかりと加熱条件を確認する。（85℃～90℃、90秒以上）

⑥ 二枚貝の生食は一定のリスクがあるので十分注意する。自分自身がノロウイルスに感染しないよう健康に留意し、また、万が一にも感染源にならないよう十分に気をつけて今年の冬も乗り切りましょう。

加工食品卸売場

第17回感謝セール

府中央卸売市場付設加工食品卸売場において、日頃のご愛顧に感謝して、恒例の「感謝セール」が開催される。

◇開催日時：平成25年12月22日（日）7:00～14:00

◇イベント内容：スクラッチくじで「お買い得券」が当たる抽選会・マグロ解体即売会・餅つき大会・地元特産品の即売会・お買得（均一）コーナー・飲食店の実演販売（う巻き・ラーメン・たこ焼き・寿司他）◇阪急茨木市駅から無料シャトルバス運行◇お問合せ先 072-636-4118

小学生の

府市場見学相次ぐ

11月、小学生の府市場見学者が別表の通り行われた。高槻市の小学校では3年生の社会科「働く人々」で市場がとりあげられている。小学生は、府市場施設の見学を通じ、様々な役割を担う人々の働きによって、生鮮食料品が安定して供給されていることを学んだ。

一行は午前9時に来場し、府中央卸売市場管理センター（株）の職員案内で、拓新水産（株）杉江社長のお魚の説明を聞くなど、約1時間半かけて、熱心に見学した。



せりちゃんと高槻市立三箇牧小学校の皆さん

見学日	見学者	学年	人数
11月1日（金）	高槻市立警手小学校	3年生	105名
11月5日（火）	高槻市立安園寺小学校	3年生	76名
11月6日（水）	高槻市立寿栄小学校	3年生	61名
11月8日（金）	高槻市立南平台小学校	3年生	77名
11月12日（火）	高槻市立三箇牧小学校	3年生	44名
11月15日（金）	高槻市立桜台小学校	3年生	83名
11月22日（金）	吹田市立江坂大池小学校	5年生	75名



大掃除で

まつり来場者を歓迎

「市場まつり」開催を控えた11月8日、場内一斉大掃除が午前・午後に分けて行われた。食の安心・安全を確保するため、定期的に市場関係者が総出で場内清掃に取り組んでいる。

今回は、天候にも恵まれ、市場まつりに気持ちよく来ていただけるように、念入りな大掃除を行い、高圧散水車による水洗いや細部の掃除、廃材などの処理やパレットの整頓などが行われた。

また、茨木市建設管理課では、11月初旬に、市道「流通4号線」沿い歩道の樹木の剪定と清掃や島公園の清掃を行い、市場まつりの開催に当たって来場者を迎える準備に協力いただいた。

府道の道路改修が完了

府道八尾茨木線側道の高架下部分が凹凸で、搬送トラックに大きなゆれを生じて、積荷に悪影響を及ぼすなど、府市場への苦情が絶えなかった。府市場管理センターでは、府茨木土木事務所に修繕を強く要請していたところ、10月31日の深夜から未明にかけて修繕工事を行われ、舗装が整備された。（写真）この結果、通行がスムーズになり、市場やトラックターミナルの通行者に喜ばれている。



管理センター報告要旨

〔ハード整備等〕完了事業

○仲卸棟2階廊下床タイルの張替え、防護柵・階段手摺・階段室塗装○青果仲卸棟1階トイレ6か所改修○西門市場サイン○水産大通り照明器具更新○管理棟東壁面塗装工事（府）（写真）○水産卸棟3階廊下床張替え○仲卸棟2階トイレ（水産）の改修（府）○水産側高木等剪定。

今後施行予定①青果仲卸店舗防鳥ネットの設置（府）②青果A3コア3階トイレ排水管取替え工事③青果卸棟3階北果実部前雨水配管修繕工事。

〔ソフト事業〕市場ゆるきゃら、着ぐるみが完成、小学生向けのDVDなどの作成に取り組む。



※卸売業者取扱高10月分は、大阪府中央卸売市場管理センター（株）のホームページ <http://osakafu-ichiba.jp/> の「統計情報」をご覧ください。